

令和 2 年 6 月 11 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2016～2019

課題番号：16K12336

研究課題名（和文）地域介入実践に活用可能なソーシャルキャピタルの測定/評価指標の開発と可視化

研究課題名（英文）Development and visualization of social capital measurement/evaluation indicators to utilize for community intervention practice

研究代表者

樺山 舞（Kabayama, Mai）

大阪大学・医学系研究科・助教

研究者番号：50635498

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,600,000円

研究成果の概要（和文）：本研究では、人々の社会活動（地域活動やボランティア、また余暇活動等）の具体的な内容とソーシャルキャピタル指標が、健康状態とどのように関連するかを検討し、地域介入に活用可能な評価指標開発と可視化を目指したものである。研究は、地域在住高齢者長期縦断疫学研究（SONIC研究）において都市部と非都市部に在住する高齢対象者の精神・身体的指標（既往歴、血圧、血液データ、認知機能、WH05）、及び社会的指標（社会参加の有無・頻度・自主性、外出頻度、家族形態、SCの一般指標および地域関連指標）の関連を検討した。成果として、特に地域特徴および年代における関係性の相違が明らかとなり、実践への糸口となる知見を得た。

研究成果の学術的意義や社会的意義

ソーシャルキャピタル(以下; SC)と呼ばれる社会の絆や結束から生み出される資源が、その地域の人々の健康を守る事が明らかとされている一方で、SCの健康への作用経路及び介入実践に結びつく知見は未だほとんど得られておらず、測定方法や下位概念も十分に確立されていない。本研究成果により、健康には地域全体のSCだけでなく、個人レベルのSCが影響するなど、居住地域による特徴の違いが認められたことから、地域高齢者のSC醸成の介入には居住地域や個人差を考慮する新たな知見が得られた。

研究成果の概要（英文）：In this study, we examined how the people's social activities (community activities, volunteer activities, leisure activities, etc.) and social capital indicators are related to their health status, and evaluated them that can be used for community intervention. It aims at index development and visualization. The study is based on the longitudinal study of community-dwelling elderly (SONIC study). We examined the relationship between mental and physical indicators (history, blood pressure, blood data, cognitive function, WH05) of elderly subjects living in urban and non-urban areas, and social indicators (presence/absence/frequency/independence of social participation, frequency of going out, family form, general SC indicators and community-related indicators). As a result, differences in relationships, especially in regional characteristics and ages, were clarified, and we gained insights that contribute to practice.

研究分野：公衆衛生看護学

キーワード：介護予防 社会的活動 地域保健 ソーシャルキャピタル

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

1. 研究開始当初の背景

ソーシャルキャピタル(以下; SC)と呼ばれる社会の絆や結束から生み出される資源が、その地域の人々の健康を守る事が明らかとされ、それは公衆衛生看護活動にとって非常に重要な概念である。しかし SC の健康への作用経路及び介入実践に結びつく知見は未だほとんど得られておらず、測定方法や下位概念も十分に確立されていない。その一因として、多くの先行する SC 研究は、ほとんどが質問紙調査によって実施されてきたことがあげられる。本研究は、それら横断的質問紙調査の限界を解決し、その客観的健康指標である血液検査、血圧・身体計測値等の種々の測定を追跡可能な集団において実施し解析するものである。また本研究の学術的な特色としては、これら SC 指標を見える化し実践応用できるように、居住環境を加味した解析を行い、公衆衛生看護活動の軸となる地域診断と連動させ、実践展開に結び付けていくことを目指したものである。

2. 研究の目的

本研究では、地域在住高齢者の身体データと SC に関連する社会活動等を縦断的に調査し、SC と健康の関連性を因果関係も含めて解明することにより地域介入支援の実践に活用可能な SC の測定/評価指標を開発する。また居住地の地理的環境も加味した分析を行い、かかる情報を可視化する。それらを地域診断と連動させ、健康な地域づくりの介入実践へ SC を活用・応用する基盤を確立し、充実した地域包括ケアシステムの構築を目指すものである。

3. 研究の方法

地域在住高齢者長期縦断疫学研究 (SONIC 研究) を基盤として、都市部と非都市部に在住する高齢対象者への会場調査を行った。またあわせて自記式質問紙調査を実施した。会場調では、血液データ等も含めた身体の客観的指標の評価を行い、あわせて社会活動の実態および SC について郵送調査を実施して、これらの関連を解析した。調査対象者は、約 3,000 名であった。対象者の 3 年後追跡調査により具体的な変化を把握できる縦断データを得て、SC と健康の関連を因果関係も含めて解明するとともに、かかる情報を可視化して介入応用への示唆を得る分析を行った。

4. 研究成果

精神的健康については、高齢者の持つ個人 SC を高めることは都市部・非都市部の別にかかわらず有用であることが示された。さらに、都市部では非都市部とは関係性が異なっており、地域全体の SC だけでなく、個人の持つ SC が影響するなど、居住地域による特徴の違いが認められたことから、地域高齢者の SC 醸成の介入には居住地域や個人差を考慮する重要性が示された。身体的健康においては、高齢者の社会的活動として、12 分類の余暇活動 (例: 趣味活動、公的社会活動、学習活動等)・ソーシャルキャピタル指標 (例: 信頼、互酬性、地域貢献) と高血圧または糖尿病の有無 (会場調査での測定結果および服薬状況) およびそれら疾病管理状況との関連性を明らかとした。分析の結果、高齢者の生活習慣病には社会的要因が関連することが明らかとなった。例えば、70 代女性においては、ソーシャルキャピタル (社会貢献意識) が高い方が有意に糖尿病の割合が低い、という結果が認められた。これらの関連性には性差および年代差、ま

た疾病の種類による違いも認められた。本研究の結果に基づき、地域での高齢者支援制度やシステム構築にさらなる提案ができると考えられた。以上の研究成果は国内外の学会にて発表を行ったとともに、学術誌への論文報告をした。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計3件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 Kabayama Mai, Mikami Hiroshi, Kamide Kei	4. 巻 18
2. 論文標題 Multidimensional factors associated with the loss of independence: A population-based longitudinal study	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 448-455
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/ggi.13209	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kabayama M, Watanabe C, Ryuno H, Kamide K	4. 巻 in press
2. 論文標題 Positive and negative associations of individual social capital factors with health among community-dwelling older people	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Geriatrics & Gerontology International	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

1. 著者名 Ryuno H, KamideK, Gondo Y, Kabayama M, Oguro R, Nakama C, Yokoyama S, Nagasawa M, Maeda-Hirao S, Imaizumi Y, Takeya M, Yamamoto H, Takeda M, Takami Y, Itoh N, Takeya Y, Yamamoto K, Sugimoto K, Nakagawa T, Yasumoto S, Ikebe K, Inagaki H, Masui Y, Takayama M, Arai Y, Ishizaki T, Takahashi R, Rakugi H.	4. 巻 in press
2. 論文標題 Longitudinal Association of Hypertension and Diabetes Mellitus with Cognitive Functioning in a General 70-year-old Population: The SONIC Study.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hypertens Res.	6. 最初と最後の頁 in press
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -

〔学会発表〕 計27件（うち招待講演 0件/うち国際学会 7件）

1. 発表者名 Kabayama M, Kamide K, Gondo Y, Yamamoto K, Sugimoto K, Masui Y, Inagaki H, Arai T, Ishizaki T, Rakugi H.
2. 発表標題 The Association of the blood pressure level with the cognitive decline after 3 years among community-dwelling older people:SONIC study.
3. 学会等名 Hypertension Beijing 2018（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名	Wada N, Kabayama M, Gondo Y, Masui Y, Yasumoto S, Sugimoto K, Arai Y, Ishizaki T, Rakugi H, Kamide K.
2. 発表標題	Interpersonal exchanges and Leisure activities are associated with Hypertension and Diabetes in community-dwelling old Japanese: the SONIC study.
3. 学会等名	Hypertension Beijing 2018 (国際学会)
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	榊山 舞, 神出 計, 榊藤恭之, 山本浩一, 杉本 研, 増井幸恵, 稲垣宏樹, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実.
2. 発表標題	高齢者における血圧値と3年後認知機能低下の年代別関連性の検討 (SONIC研究)
3. 学会等名	第60回日本老年医学会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	榊山 舞, 神出 計, 榊藤恭之, 山本浩一, 杉本 研, 赤坂 憲, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実.
2. 発表標題	地域在住高齢者における年代別血圧値と3年後調査脱落率との関連性: SONIC研究.
3. 学会等名	第54回日本循環器病予防学会
4. 発表年	2018年

1. 発表者名	和田直子, 榊山 舞, 榊藤恭之, 増井幸恵, 安元佐織, 杉本 研, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計
2. 発表標題	地域在住高齢者の生活習慣病と対人交流・余暇活動との関連についての検討: SONIC研究
3. 学会等名	第54回日本循環器病予防学会誌
4. 発表年	2018年

1. 発表者名 和田直子, 樺山 舞, 権藤恭之, 増井幸恵, 安元佐織, 杉本 研, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計
2. 発表標題 地域在住高齢者における糖尿病管理と社会的要因との関連
3. 学会等名 第60回日本老年医学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小野口航, 福川康之, 樺山 舞, 増井幸恵, 稲垣宏樹, 小川まどか, 神出 計, 石崎達郎
2. 発表標題 高齢者の信頼感と社会参加および精神的健康の関連についての縦断的検討
3. 学会等名 第77回日本公衆衛生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kabayama M, Kamide K, Gondo Y, Sugimoto K, Masui Y, Ishizaki Y, Arai Y, Rakugi H
2. 発表標題 The Association of Blood Pressure with Frailty among Community-Dwelling Older People.
3. 学会等名 The 21ST IAGG World Congress of Gerontology & Geriatrics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kabayama M, Watanabe C, Ryuno H, Kamide K
2. 発表標題 Postive and Negative Associations of Social Capital Factors with Health.
3. 学会等名 The 21ST IAGG World Congress of Gerontology & Geriatrics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nakagawa T, Kabayama M, Matsuda K, Yasumoto S, Gondo Y, Kamide K, Ikebe K.
2. 発表標題 Is Daily Physical Activity Pleasant for Older Adults? Between-and Within-Person Associations.
3. 学会等名 The 21ST IAGG World Congress of Gerontology & Geriatrics. (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kiyoshige E, Kabayama M, Sugimoto K, Arai Y, Ishizaki T, Gondo Y, Rakugi H, Kamide K
2. 発表標題 Investigation about Associated Illness with Disability in Community-Dwelling Older Population.
3. 学会等名 The 21ST IAGG World Congress of Gerontology & Geriatrics (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 榊山 舞, 神出 計, 龍野洋慶, 権藤恭之, 山本浩一, 杉本 研, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実
2. 発表標題 高齢者における血圧値と認知機能の年代別関連性の検討 (SONIC研究)
3. 学会等名 第59回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 清重映里, 榊山 舞, 龍野洋慶, 杉本 研, 池邊一典, 新井康通, 石崎達郎, 権藤恭之, 樂木宏実, 神出 計
2. 発表標題 地域在宅高齢者における要介護認定と生活習慣病・慢性疾患の関連性の検討 (SONIC研究)
3. 学会等名 第59回日本老年医学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 榊山 舞, 神出 計
2. 発表標題 都市部地域在住高齢者の3年後要介護に関連する社会的要因の縦断的検討
3. 学会等名 日本地域看護学会第20回学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 榊山 舞, 三上 洋, 神出 計
2. 発表標題 都市部地域在住高齢者の要介護状態に関連する社会的要因の縦断的検討
3. 学会等名 第28回日本老年医学会近畿地方会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 榊山 舞, 神出 計, 龍野洋慶, 榊藤恭之, 赤坂 憲, 山本浩一, 杉本 研, 池邊一典, 稲垣宏樹, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実
2. 発表標題 高齢者における高血圧値と認知機能の関連性 (SONIC研究) 年代およびフレイル別検討
3. 学会等名 第40回日本高血圧学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 榊山 舞, 神出 計, 榊藤恭之, 龍野洋慶, 赤坂 憲, 山本浩一, 杉本 研, 池邊一典, 稲垣宏樹, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実
2. 発表標題 地域在住高齢者における年代別血圧値とフレイル・認知機能との関連性 ~ SONIC研究 ~
3. 学会等名 第29回血圧管理研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 樋口温子, 樺山 舞, 神出 計
2. 発表標題 地域高齢者の地縁組織参加と精神的健康との関連
3. 学会等名 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小野口 航, 福川康之, 樺山 舞, 権藤恭之, 増井幸恵, 石崎達郎, 安元佐織, 松本清明
2. 発表標題 高齢者におけるソーシャル・キャピタルの地域差と年代差—SONIC研究の横断的データから—
3. 学会等名 日本心理学会第81回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 澤山泰佳, 樺山 舞, 清重映里, 神出 計
2. 発表標題 地域在住一般住民高齢者における喫煙量と認知症機能の関連性について：SONIC研究
3. 学会等名 第5回日本公衆衛生看護学会学術集会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kabayama M, Mikami H, Kamide K.
2. 発表標題 Population-based Longitudinal Study Using a Multidimensional Checklist to Predict Independence Loss.
3. 学会等名 2016 GSA Annual Scientific Meeting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 清重映里, 樺山 舞, 龍野洋慶, 井上貴子, 杉本 研, 新井康通, 石崎達郎, 権藤恭之, 樂木宏実, 神出 計
2. 発表標題 介護認定とメタボリックシンドローム及び疾患の関連性の検討 (SONIC研究)
3. 学会等名 第58回老年医学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 樺山 舞, 三上 洋, 神出 計
2. 発表標題 都市部地域在住高齢者の3年後要介護に関連する要因の縦断的検討
3. 学会等名 第58回老年医学会学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 澤山泰佳, 樺山 舞, 清重映里, 井上貴子, 龍野洋慶, 関口敏影, 杉本研, 権藤恭之, 池邊一典, 稲垣弘樹, 増井幸恵, 新井康通, 石崎達郎, 樂木宏実, 神出 計
2. 発表標題 一般高齢者における喫煙が認知機能に及ぼす影響: SONIC研究
3. 学会等名 第52回日本循環器病予防学術学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 清重映里, 樺山 舞, 井上貴子, 澤山泰佳, 神出 計
2. 発表標題 地域在住一般住民における介護認定の有無と生活習慣及びその要因の関連性の検討 (SONIC研究)
3. 学会等名 日本地域看護学会第19回学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 澤山泰佳, 樺山 舞, 清重映里, 井上貴子, 神出 計
2. 発表標題 地域在住高齢者における喫煙と認知機能の関連性の検討: SONIC研究
3. 学会等名 日本地域看護学会第19回学術集会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 樺山 舞
2. 発表標題 要介護認定に関連する要因 栄養・身体・心理社会的側面からの検討
3. 学会等名 第38回日本臨床栄養学会総会
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計3件

1. 著者名 樺山 舞, 神出 計 (樂木 宏実編)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本臨牀社	5. 総ページ数 5
3. 書名 老年医学 (上) - 基礎・臨床研究の最新動向 . 高齢者の在宅医療 在宅医療と多職種連携 行政・地域包括支援センターの役割	

1. 著者名 樺山 舞 (分担執筆)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 大阪大学未来戦略機構第5部門未来共生イノベーター博士課程プログラム	5. 総ページ数 465
3. 書名 未来共生学vol.4	

1. 著者名 Kabayama M, Kamide K	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 印刷中
3. 書名 Socioeconomic Factors and CVD: The Encyclopaedia of Cardiovascular Research and Medicine-- Cardiovascular Disease epidemiology and Preventive Cardiology	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	神出 計 (Kamide Kei) (80393239)	大阪大学・医学系研究科・教授 (14401)	
研究分担者	権藤 恭之 (Gondo Yasuyuki) (40250196)	大阪大学・人間科学研究科・教授 (14401)	
研究分担者	安元 佐織 (Yasumoto Saori) (60649317)	大阪大学・人間科学研究科・講師 (14401)	